

# 「公共建築の日」2022 フォトコンテスト

## 受賞作品集

——公共建築と風景、街並み——

「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会  
一般社団法人公共建築協会 北海道地区事務局

<https://www.pbaweb.jp/association/branch/hokkaido/photocon/>

# 「公共建築の日」2022 フォトコンテスト 審査結果報告

本年のフォトコンテストは、2022（令和4）年7月1日に応募要項を発表し、応募部門を「デジタルカメラ部門」、  
「携帯・スマホ部門」の2部門で、2021（令和3）年10月以降に撮影した作品を対象に、「公共建築と風景、街並み」  
をテーマとして本年7月1日から10月2日まで応募を受け付けました。

その結果、2部門とも昨年の応募総数を若干下回る応募になりましたが、新型コロナ禍での人流抑制などの措置  
が講じられるなか、多数の応募を頂いたことにお礼申し上げます。

「デジタルカメラ部門」 73点（2021〔令和3〕年：99点）

「携帯・スマホ部門」 60点（2021〔令和3〕年：68点）

2022（令和4）年10月25日に開催された審査委員会において、厳正なる審査の結果、次の作品が選考されました。「デ  
ジタルカメラ部門」では、優劣つけ難い作品があり、準グランプリ2点の予定を3点に、佳作4点を3点にする結  
果になりました。来年のフォトコンテストに引き続き多数の応募を賜ることを実行委員会一同祈念しております。

「公共建築の日」及び「公共建築月間」北海道地方実行委員会  
（事務局：一般社団法人公共建築協会北海道地区事務局）

## ● 受賞作品一覧

【デジタルカメラ部門】			
賞	題名	対象公共建築	受賞者
グランプリ	「化粧直し」	北海道旧本庁舎（赤れんが庁舎）	只石 秀樹（札幌市）
準グランプリ	「夜空に浮き立つピラミッドと月」	モエレ沼公園ガラスのピラミッド	新村 本広（札幌市）
準グランプリ	「試合の日」	札幌ドーム	山内 佳子（札幌市）
準グランプリ	「雪夜に輝く美瑛石」	美瑛駅舎	藤原 勇輝（大阪府茨木市）
佳作	「春の館」	旧函館区公会堂	増井 典子（苫小牧市）
佳作	「二人で鳴らそう幸せの鐘」	藻岩山頂展望台 幸せの鐘	掛村 一憲（札幌市）
佳作	「音楽の似合う建物」	エドウィン・ダン記念館	山内 崇司（札幌市）
【携帯・スマホ部門】			
賞	題名	対象公共建築	受賞者
特選	「緑の絵画、 自然を取り込む美術館の窓」	北海道立近代美術館	中村 佳弘（倶知安町）
入選	「東区、初秋の朝」	つどーむ	小野 高秀（札幌市）
入選	「Red Carpet」	札幌テレビ塔	田中 秀樹（札幌市）
入選	「春到来！」	北海道知事公館	金 昭賢（札幌市）
奨励賞	「ガラスのピラミッド—夜景—」	モエレ沼公園ガラスのピラミッド	長谷川 裕（札幌市）
奨励賞	「UFO 内部」	旭川地方合同庁舎	古川 晴之（旭川市）
奨励賞	「Kushiro Underground Art Museum」 （釧路地下歩道美術館）	釧路駅地下道	久保田 豊（札幌市）
奨励賞	「青に映える」	札幌ドーム	大場 悠晴（札幌市）

## ● 「公共建築の日」2022 フォトコンテスト審査委員会

(敬称略)

委員長	佐藤 雅英	(公社)日本写真家協会会員 NPO 法人北海道を発信する写真家ネットワーク顧問
委員	神谷 剛	国土交通省北海道開発局営繕部長
	竹村 光司	国土交通省北海道開発局営繕部営繕計画課長
	芥川 昌久	北海道建設部建築局建築整備課長
	東山 葉一	札幌市都市局建築部建築保全課長

### ● 審査風景



# 「公共建築の日」2022 フォトコンテスト総評



審査委員長 ● 佐藤 雅英

「公共建築の日」フォトコンテストは、2003（平成15）年に第1回を開催して以来、「建築と人間のかかわり」を主題に各年で関連するテーマを設定し、実施してきた。建築は人に利用され、愛されることによりその価値が高まっていくとの認識にたつてのものである。本来であれば今年の募集もそれに沿ってテーマ設定がなされる場所であるが、一昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大が引き続く状況にあり、「建築と自然」を主題に、募集テーマを昨年と同様に「公共建築と風景、街並み」とした。

今年の応募数は昨年より減少する結果となった。新型コロナウイルスの爆発的な拡大による外出自粛要請などにより撮影機会が減少したものと思われる。しかしながら、一つ一つの作品の水準が高く、テーマを「公共建築と風景、街並み」としたにもかかわらず、「人」を据えた作品が数多く寄せられた。応募いただいた皆様に心より感謝申し上げたい。加えて、今回、小学生、中学生からの応募があったことは望外の喜びであった。わたしの所属する（公社）日本写真家協会では、2005（平成17）年から小学生を対象に全国の小学校で「写真学習プログラム」（体験参加型）を推進してきている。写真という優れた記録媒体を使って「記録・表現することの意味」を理解してもらおうとする試みである。わたし自身も関係者として協力してきているところ、その中で、大場悠晴君（中学生）の作品「青に映える」がスマホ部門で奨励賞を受賞したことは喜びもひとしおであった。

今回の応募作品のどれもが力作で、それぞれの表現に特徴があり、優劣つけがたい作品ばかりであった。審査委員会の各委員も真摯に審査し、選考作業を行った。その結果、今回の受賞作品は、その中にあっても「光」の濃淡、画面構成の巧みさや、人の営みを感じられる作品、「公共建築」への視点にぶれがないものなどが選考されることになった。詳細については講評をお読みいただきたい。

新型コロナウイルスを取り巻く状況は依然として予断を許さない状況ではあるが、徐々に人々が街に戻り始めてもいる。来年の「公共建築の日」2023 フォトコンテストでは、多くの作品と若い世代からの応募が寄せられることを期待している。

最後に、安心して暮らせる日常とともに建築や街中に人々の明るい笑い声がこだまする日がくることを切に念じて総評を書き終えることにしたい。

来年が皆さんにとってより良い1年であることを祈念します。

## Profile

1946年稚内市生まれ、札幌在住。（公社）日本写真家協会会員、NPO法人北海道を発信する写真家ネットワーク顧問。国内外の芸術家、文化人、匠の肖像、都市の歴史、建築、文化などを撮り続け、東京コダックフォトサロン、韓国、日本大使館広報文化院、中国魯迅美術館などで数多くの写真展を開催。特に2001年同時多発テロ前後を捉えた『NEW YORK NEW YORK Peace and Love』は話題となる。2000年、現代日本の写真（ARTBOX international）日本を代表する写真家110名に選抜される。2014年、パリ日本年日本選抜作家展（フランス・パリ「モナリザギャラリー」）、2015年、「目で楽しむ音楽展」（札幌芸術の森美術館）、2016年、500m美術館 Vol.18「記憶と記録の札幌」（地下歩道空間）。



デジタルカメラ  
部門

## 化粧直し

只石 秀樹（札幌市）

グランプリ

北海道旧本庁舎（赤れんが庁舎）



青のライトに浮かび上がる赤れんが庁舎、そのライトに浮かぶ庁舎の傍らの赤と青のクレーンのブームと映える路面の赤の配置が、赤れんが庁舎の輪郭を最も際立たせる構図になっている。赤れんが庁舎を次代に継承しようとする試みの臨場感が観る者をとらえて離さない。背景におぼろげながら浮び上がる現庁舎、画面手前に写る人がそれを一層際立たせている。撮影時間帯、絶妙のアングルが一体となり、時のうつろいの中で風雪を刻み続ける赤れんが庁舎の「今（一瞬）」を見事に切り撮っている。優れた作品である。

携帯・スマホ  
部門  
特選

## 緑の絵画、自然を取り込む美術館の窓 中村 佳弘（倶知安町）

北海道立近代美術館



建物の外観、内観をシンメトリックに構成する太田實の代表的作品である。水平のラインと垂直のラインとで構成するシンメトリックな内観を、2階ロビーを画面中央に据え、両側の階段を写し込むことで、建築家の意図が的確に捉えられている。窓から差し込む淡い光と浮かび上がる人々の陰影が、生き活きとした公共建築の存在を浮かび上がらせ、窓外上部の樹々、下部に広がる庭園が北海道の自然と日々の営みを思い起こさせる構図は特筆に値する。



デジタルカメラ  
部門  
準グランプリ

## 夜空に浮き立つピラミッドと月

新村 本広 (札幌市)

モエレ沼公園ガラスのピラミッド



満月とピラミッドを一線にそろえ、最高の時間帯を選んだことで、月明かりのもとでピラミッドの輪郭が見事に浮かび上がっている。画面手前の柱を照らすライト、建物から漏れる灯りが人の営みを感じさせ、空間の奥行とその広がりの中にピラミッドが静かに佇む風景がそこにある。

デジタルカメラ  
部門  
準グランプリ

## 試合の日

山内 佳子 (札幌市)

札幌ドーム



札幌ドームをこれまでにないアングルで捉えた作品である。望遠を使い、露光に配慮することで、晴れた夏の日の光景を色彩豊かに浮かび上がらせている。遠近感を感じさせないフラットな仕上がりでありながら、立体的な札幌ドームの姿と人波の浮き浮きとした感じを醸し出している。

デジタルカメラ  
部門  
準グランプリ

## 雪夜に輝く美瑛石

藤原 勇輝 (大阪府茨木市)

美瑛駅舎



伝統的建築物である美瑛駅舎の壁面を照らす駅灯が美瑛軟石の白さと雪の白さを際立たせ、車窓から漏れる光の色のコントラストがそれをいっそう強調する。今まさに乗車しようとする人々の姿が、暮らしに寄り添い続ける駅舎の姿を浮かび上がらせている。

デジタルカメラ  
部門  
佳作

## 春の館

増井 典子 (苫小牧市)

旧函館区公会堂



国の重要文化財である旧函館区公会堂の右手に桜の木を配置し、その傍らに家族を撮り込むことで春の公会堂の姿が一段と活きる構図になっている。公会堂の屋根と背景の樹々が同色系であり、もう少し上の空間を撮り込んでいればなおよかった。



デジタルカメラ  
部門

## 二人で鳴らそう 幸せの鐘

佳作

掛村 一憲（札幌市）  
藻岩山頂展望台 幸せの鐘

夕暮れの時間帯を選ぶことで、二人のシルエットが、コロナ禍にあって人と人のコミュニケーションに変化がおとずれる中であっても、「愛」は悠久の時の流れに存在し続けることを感じさせる。彼方になびく雲海がそれを想起させる。ロマンチックで物語性のある1枚になった。



デジタルカメラ  
部門

## 音楽の似合う建物

佳作

山内 崇司（札幌市）

エドウィン・ダン記念館



木造、白塗りで緑の屋根のエドウィン・ダン記念館が柔らかな光を映し、手前のモニュメントを写し込むことで、芸術を愛し、演奏に集う人々が音楽を楽しんでいる光景が浮かび上がっている。

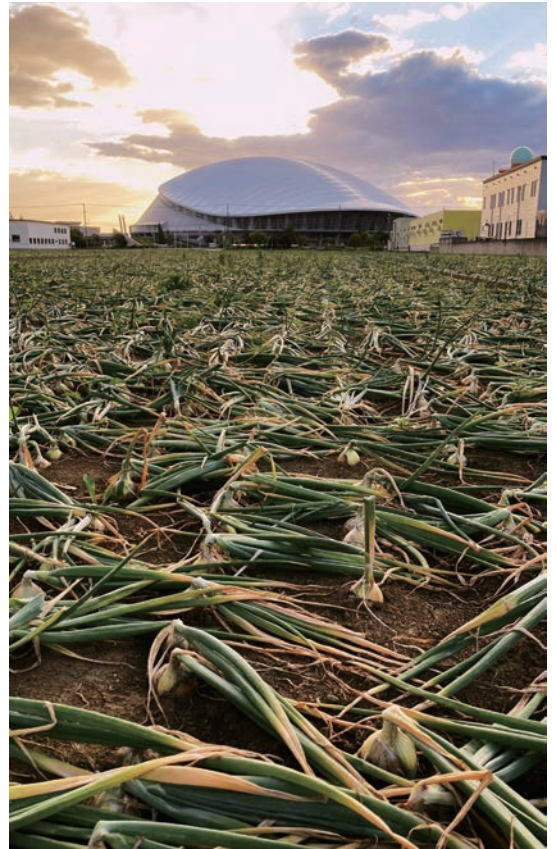
携帯・スマホ  
部門

## 東区、初秋の朝

入選

小野 高秀 (札幌市)  
つどーむ

時間帯を選ぶことで、背景の陽の光が「つどーむ」に奇麗に投影され、畑に直線的に並ぶ玉ねぎとのコントラストが絶妙である。玉ねぎと土の匂いを感じさせ、秋の季節感といままさに収穫を迎えようとしている臨場感のある作品になっている。



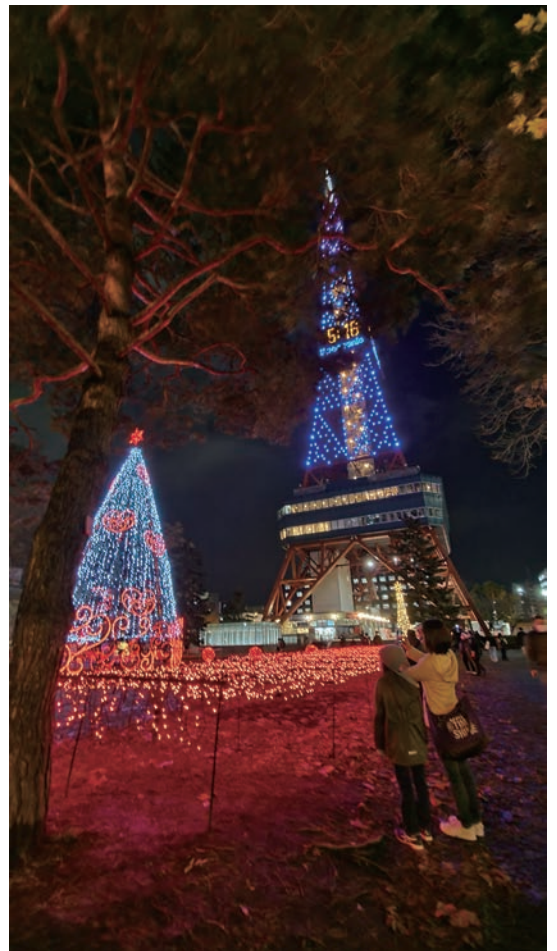
携帯・スマホ  
部門

## Red Carpet

入選

田中 秀樹 (札幌市)  
札幌テレビ塔

一見するとよくある構図のように思われるが、コロナ禍にあってコミュニケーションが難しい中、親子の何気ないコミュニケーションの瞬間を撮り込むことで、ライトアップされた大通公園と札幌テレビ塔が一段と強調されている。





携帯・スマホ  
部門

## 春到来！

金 昭賢（札幌市）

入選

北海道知事公館



咲き誇る桜を大胆に撮り込んで、春を感じさせる作品になっている。その分、背景の公館の姿が弱くなってしまったのが残念である。もう少しカメラが右側に寄れば、もっと建物全体が表現できていたと思う。

携帯・スマホ  
部門

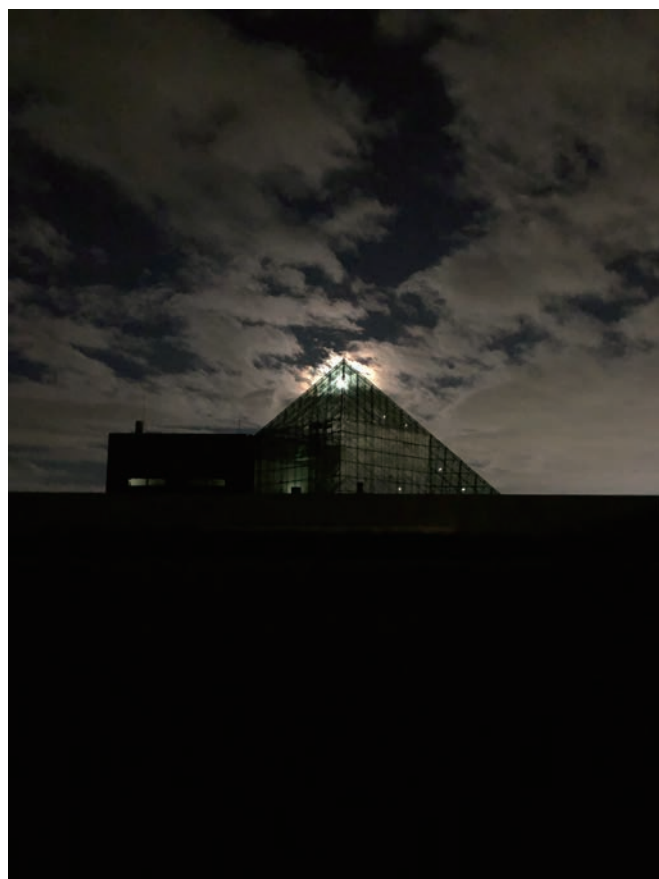
## ガラスのピラミッド —夜景—

長谷川 裕（札幌市）

奨励賞

モエレ沼公園ガラスのピラミッド

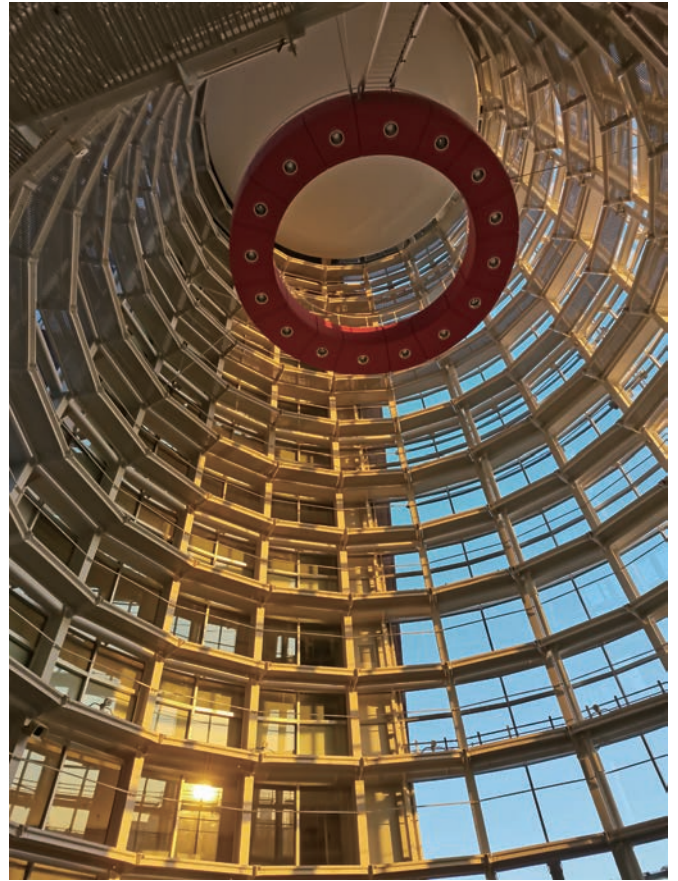
上下のシルエットのバランスをとることで、ピラミッドの姿を浮かび上がらせている。ピラミッドの頭上に月の光を投影させることで、象徴的なピラミッドの姿が一段と強調されている。





携帯・スマホ 部門	<b>UFO 内部</b>
奨励賞	古川 晴之 (旭川市) 旭川地方合同庁舎

施設名称がなければ合同庁舎とは気づかない、ユニークなアングルでの撮影である。エントランスホールガラス越しにさし込む夕陽が、多様な陰影をつくり、有機的なデザインと自然との調和を感じさせる。



携帯・スマホ 部門	<b>Kushiro Underground Art Museum</b>	久保田 豊 (札幌市)
奨励賞	(釧路地下歩道美術館)	釧路駅地下道



広角レンズを使った地下歩道空間のワイド効果と遠近感を感じさせるよい作品である。本来は冷たい地下空間に、照らす光とともにぬくもりを与えている「ボーダレスアート」の美術館として、日常の中にアートが溶け込む空間とぬくもりを上手に切り撮っている。

携帯・スマホ  
部門

## 青に映える

大場 悠晴（札幌市）

奨励賞

札幌ドーム



札幌ドームの空を大胆に切り撮った構図がよい。さらに、背景の空の濃淡、ドームに反射する空の青と光が絶妙に配合され、コントラストの妙ともいえる作品になっている。これからどのような作品を撮っていくのか楽しみである。

「公共建築の日」……公共建築が国民生活に一層密着したより良いものとなることを目指し、建築の基本的な構造を象徴する4本の「柱」のイメージや国会議事堂の完成（昭和11年11月）などから、11月11日を「公共建築の日」、そして11月を「公共建築月間」とし、さまざまなイベントを実施しています。「公共建築の日」や「公共建築月間」についてはウェブサイト（[https://www.pbaweb.jp/pb\\_date/events/](https://www.pbaweb.jp/pb_date/events/)）をご覧ください。

# 「公共建築の日」2022 フォトコンテスト

## 受賞作品集

<https://www.pbaweb.jp/association/branch/hokkaido/photocon/>



本作品集に掲載された写真、文章等を、  
一般社団法人公共建築協会ならびに著作権者の承諾なしに  
無断で複写またはスキャニング、データベースへの入力、  
インターネットでの掲載等を行うことを禁じます。

© 2022 一般社団法人公共建築協会